

教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子供

千布小学校だより

4月号 H31.4.11
天童市立千布小学校
校長 三好 義宏

第一学期スタートしました 平成から令和へ！

新2年生の女の子に「1年生と2年生どっちがよかった？」と聞きました。ちょっと考えて、はにかむような笑顔で「2年生！」と答えてくれました。今子供たちは、進級や入学での新鮮な喜びを感じているようです。今年も、子供の笑顔がたえない、安心して通える学校を、職員一同で目指していきます。

平成31年度の千布小学校は、児童数126名、職員数16名、学級数8でスタートしました。学校目標「心豊かに たくましく伸びていく子供」をめざし、「つなぐ・深める」を合言葉に、温もりのある支援を行っていきます。子供の自立のために、保護者・地域の皆様のご支援を、宜しくお願いたします。

始業式での校長の話より

平成31年は、16名の先生方と、子どもたちは、月曜日に入ってくる20名のかわいい1年生と転入生2名を含めて126名になります。合わせて142名のメンバーで、この千布小学校の1学期73日がスタートします。千布小学校で、大きく変わったことを、紹介します。それは、学期の区切りが変わりました。これまでは、9月と10月の間で、前期と後期の2つでしたが、今年からは、長い休みのあととまえに区切りをつけ、4月から7月までを1学期、8月から12月までを2学期、1月から3月までを3学期とします。生活に区切りをつけて、3、4か月の目標をもったり、反省をしたり、気持ちを切り替えたりしてほしいと思います。残念ながら、通知票は9月と3月の2回は変わりません。学習は、みなさんが分かるようになるまで、長い時間をかけることに変わりはありません。

次は、皆さんと先生たちと、ともに頑張りたいという願いを込めた「学校生活の合言葉」についてお話しします。

千布小でも大切にしたい合言葉の1つ目は、「つなぐ」です。

これは、ずっと大切にしてきました。「お友達と、自分の考えをしっかりと交換できるような関係をつくる。」「それぞれの考えの違いを手掛かりにして、答えを考える。」「失敗や間違いを恐れず、自分で考え、行動し、学びを進める。」ことでしたね。今年も、ひと・こと・ものに、温もりを持って自分からつながっていきましょう。

2つ目は、「深める」です。

答えが分かったとしても安心して、学びをやめてはいけません。本当にそうなのか考え直したり、そう考えた理由をしっかりと説明したり、友達の考えをきいて自分の答えを作り直したりすることを、「深める」と言います。千布小学校の子供たちは、しっかりできている子供たちですので、先生方ももう一度確かめられる子供であってほしいと思います。

この1年間で、先生方もみなさんとともに成長していきます。実りある1年となるよう、頑張ってください。

新入児20名の入学式



20名の新入児を迎え、入学式を行いました。2年生の素敵なあいさつで、ピカピカの一年生を歓迎しました。入学おめでとう！！

四谷春の交流

3月28日から30日まで、卒業した6年生と一緒に、東京の四谷に行ってきました。千布小と四谷小のつながりは昔からで、夏や春の交歓会は46年も続いています。小学校同士も、12年前に姉妹校の協定を結んでいる関係で、地区育成会と保護者の方で小学校も訪問してきました。グラウンドは、緑色の人工芝。4階建ての屋上にきれいなプール。すべての教室にプロジェクターと電子黒板。小学校の中に、認定こども園と学童クラブ。学校の周りには、マンションと会社のビルとお店とコンビニです。千布と似ているところは、子供たちが明るく素直で地域の方がたくさん学校に協力している所です。小学校を中心に、保育園の子供も、地域のおじさんも、保護者の方も、学童に通っている子供も、みんな素敵につながっているのです。たくさんつながりを感じる、三日間でした。

新しい職員を迎えての新任式

歓迎の言葉

六年 工藤 祐也

干布小学校によろこそいらっしやいました。ぼくたちは、新しい先生方とお会いするのを、とても楽しみにしていました。干布小学校は、今年創立140周年を迎える歴史のある小学校で、児童数は126名です。

干布地区は、ぶどうやりんご、サクランボなどのおいしい果物がたくさんとれるところです。学校の周りにも果樹園がたくさんあります。地域の人たちはとても優しく、地域全体でぼくたちを見守っていてくれます。また、地域の行事もたくさんあって、四谷小との交流やスピーチコンテストなどの活動があります。

干布小のじまんはたくさんありますが、その中から三つを紹介します。一つ目は、元気なあいさつをがんばっていることです。地域の人たちや先生方に、自分から進んで大きな声であいさつができるように、児童会を中心に全校生でがんばっています。

二つ目は、本をたくさん読むことです。登校したらすぐ準備を終えて、たくさん児童が図書室に行き本を借ります。毎日のように借りに行く人もいて、中には一年間で三百冊以上も借りている人もいます。

三つ目は、自分の仕事を率先してすることです。自分の仕事が早く終わった時には、他の人の仕事を手伝います。委員会活動でも、学校をもっとよりよくしようと、委員の人たちが一丸となり、責任を持って活動しています。

ぼくは、これから八名の先生方と活動していくのがとても楽しみです。干布小のことで何か分からないことがあったら、ぼくたち六年生に何でも聞いてください。これから、どうぞよろしくおねがいたします。



始業式での代表決意表明

六年生でがんばること

いよいよ新年度が始まり、ぼくは六年生になりました。最後の小学校生活になります。これまでの五年間で、ぼくはすばらしい経験ができました。でも、最高学年となる今年は、これまでと違う立場で生活していかなければなりません。だから、よりよい一年にするために、目標を三つたてました。

まず一つ目は、「最高学年として、やさしさと思いやりを大切にすること」です。新一年生に優しく声をかけたり、たてわり班で下級生のことを考えて指示したりして、たよれる六年生になりたいです。

二つ目は、「勉強をがんばる」ことです。ぼくの好きな教科は算数です。なぜかという、どうやって考えればいいのかと次からは簡単にできるようになるからです。逆に苦手な教科は国語です。中でも一番苦手なのは漢字です。漢字を練習することは問題ないですが、それを覚えることが苦手なので、六年生ではしっかり覚えていきたいです。そのために、自学をたくさんしていきたいです。

三つ目は、「委員会活動をがんばること」です。ぼくは今年度、放送委員会の副委員長になる予定です。だから、自分の分担の仕事をするだけでなく、今年に入って来る新しいメンバーに、放送室の機器の使い方やインタビューの仕方、放送日誌の書き方などをしっかりと教えて、完璧な放送をめざしていきたいです。

この三つの目標を忘れないようにして努力し、小学校最後の一年が、自分にとって満足できるものになるようにしたいと思います。五月から新しい元号に変わり、新しい時代が始まります。そんな新しい時代にふさわしい力を身に付けていきたいです。

職員紹介 (☆新任)

校長 三好 義宏
☆教頭 須藤 仁
(市教育委員会より)

教務主任 瀬野 淳
☆養護助教諭 新田 尚子
(山口小より)

主事 笹 廣祐
☆なかよし1組 鈴木 千夏
(新規採用)

なかよし2組 眞木めぐみ
1年1組 堀川るり子
☆2年1組 菅原万莉子
(新卒採用)

☆3年1組 山本 雅子
(蔵増小より)

4年1組 高橋 聡美
☆5年1組 長岡なつ美
(上山南小より)

6年1組 西塚 真
技能主査 瀧口 富夫
☆図書整理員 遠藤 弥生
(新規採用)

☆給食業務員 渡邊 泰子
(新規採用)

育児休業中 長濱 奈央
産前休業中 佐藤 恵里

六年 蜂谷 駿